

町長と新春対談

町長 松田町へ、ようこそおいでくださいました。日本を代表する女優さんにお越しいただき、大変光栄に思います。

東京からの道中、いかがでしたか。

八千草 東名高速道路を利用し、ここまでやってきました。私の旧姓は松田なので、以前からインナーチェンジの標識に「大井松田」とあるのが気になり、興味をもっておりました。

町長 昨年、NHKの大河ドラマでも武家政治の始まりとなる、源氏と平氏の壮大な歴史が展開されていました。松田町の「松田」という名前は、鎌倉時代の源氏の流れの中に既にあつたのです。

八千草 まあ、そうですね。

全国の松田のルーツ

町長 松田氏の成り立ちを簡単に説明しますと、全国に松田を名乗る家系は数多くありますが、ここ松田郷（現松田町）から始まることは歴史上異論がないところなのです。

八千草 それは存じませんでした。興味深いお話ですね。

町長 平安末期、松田郷を治めていたのは、豪族波多野氏でした。初めて歴史に登場するのが波多野義通です。この義通は武士による政治のきっかけとなる平安末期の保元、平治の乱に源義朝に仕え、共に闘いました。

八千草 まさに大河ドラマの世界ですね。

町長 波多野義通の妹と源義朝の



八千草さん、歴史絵巻に感動

町長 平安末期から鎌倉時代にかけて、松田郷は足柄峠を通り、富

京に通じる要衝の地

にかけて大活躍をした、と言っています。

八千草 そんな有名なお寺までも

町長 また、町内に寒田神社という神社があるのですが、そこに頼朝が、いろいろ寄進しています。八千草さんの本名である松田姓を名乗る氏族は、平安末期から鎌倉

き、曹洞宗大本山永平寺を建立しています。

町長 その後、鎌倉幕府が西国に

永平寺建立に関わる

間の子に朝長がいます。この朝長は鎌倉幕府を開府した源頼朝のすぐ上の異母兄です。その朝長は松田生まれの松田育ち、「松田亭」で13年間生活をしました。その義通の直系の孫、波多野有経（常）が、源頼朝より文治4（1188）年に松田郷を与えられ、初めて松田氏、松田有経を名乗り鎌倉殿御家人となったのです。

八千草 それが松田氏のルーツですか。

平安・鎌倉の祖先に思いはせ

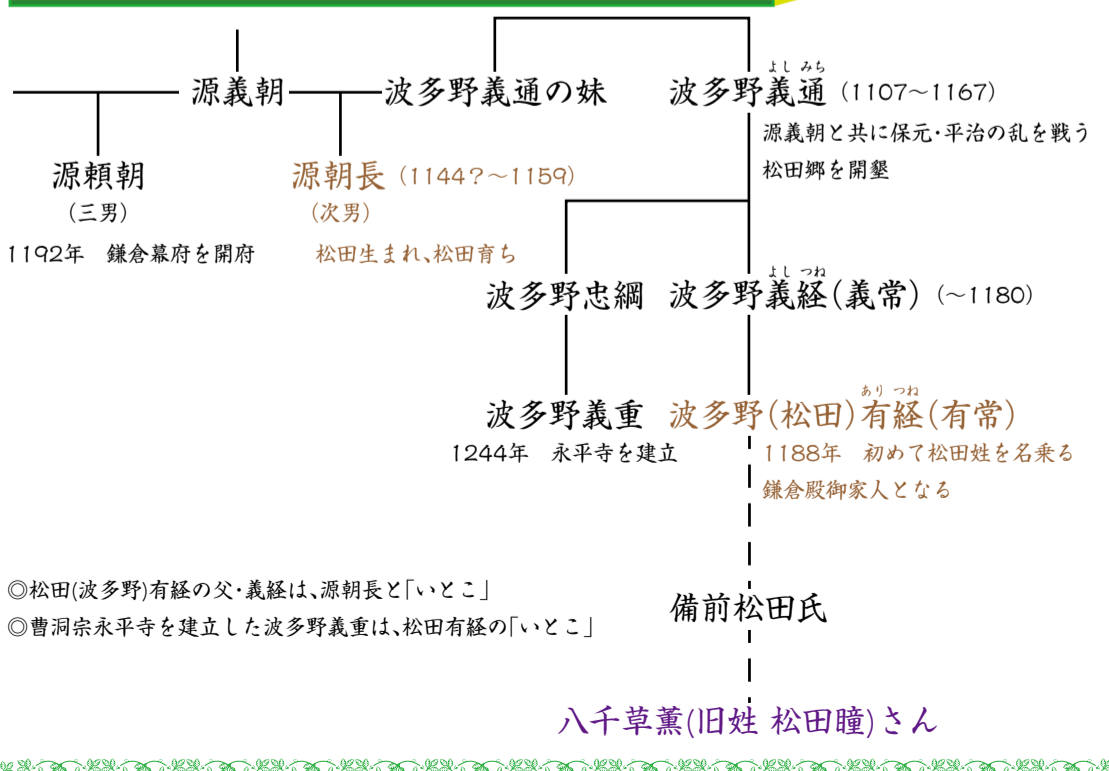
勢力を伸ばしていく時、松田有経の甥経朝が、備前の国（今の岡山県南東部）に領土を与えられ、時を経て松田氏は守護になり、さらに戦国時代には備前の国の半分を領する玉松城を築いています。そして、松田氏は分派していきまし

八千草 そうなんですか。

町長 なお、松田有経のいとこにあたる越前の国（今の福井県）の守護・波多野義重は禅僧道元を招



松田氏は文治4(1188)年から始まる



◎松田(波多野)有経の父・義経は、源朝長と「いとこ」

◎曹洞宗永平寺を建立した波多野義重は、松田有経の「いとこ」

士山のふもとを抜け、京に向かう中継点となり、松田亭や寒田神社がある非常に重要な地点でした。朝長のために建てられたという「松田亭」は、頼朝が富士川の戦いで勝ち、ひと休みした場所です。

八千草 まあ、壮大な時代絵巻ですね。

町長 松田が栄えたのは平安末期から鎌倉にかけて、もう一つは明治22（1889）年に東海道本線の松田駅ができ、昭和9（1934）年、丹那トンネルができ御殿場線になるまでの間だと思っています。八千草さんが昨年4月に訪ねた四

国讃岐（香川県三豊市詫間町）の松田さんからは、毎年寒田神社の大祭や新嘗祭に必ずお供え物があげられています。

ハーブや緑茶楽しむ

町長 今お出ししているお茶はハーブティーです。町のシンボルでもある松田山中腹の丸い筒状の建物があり、そこから採れたハーブで作ったお茶です。

【3面に続く】